



**講義④性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）  
に関する調査結果及び解消等に向けた取組について**

令和5年11月

内閣府男女共同参画局総務課

# 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究について

内閣府男女共同参画局では、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、気づきの機会を提供し、理解を促すことで、その解消を図ることを目的に、性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査を実施・公表している。

## 令和4年度 性別による無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）に関する調査結果

### ▼調査概要

本調査では、41の測定項目（前回調査36項目）について、回答者から、性別役割意識（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階から選択し回答）や性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験の有無などを聞いた結果を取りまとめている。

### 調査結果はこちらから↓

「令和4年度 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」（内閣府男女共同参画局／2022年11月公表）

[https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu\\_r04.html](https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu_r04.html)

### ▼調査結果のポイント

○今回の調査結果の主なポイントは、以下のとおり。（※前回調査は令和3年度に実施）

- ・性別役割について、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した割合は、前回調査結果とほぼ同様に男性のほうが高い結果となっている。
- ・全項目平均では、性別役割の「意識」は男性が高い一方で、直接言われた・言動や態度から感じた「経験」は女性のほうが多い。
- ・職場の役割分担に関する項目において、20代男性で「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が高いものが多くみられる。

### ▼対象・調査設計

【対象】全国男女20-60代 10,906人（男性5,452人 女性5,384人 その他70人）

【調査設計】全国47都道府県を性別、年代（20代～60代）で分け、均等に回収するサンプリングとし、測定項目を追加し41項目とした。

（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計）

男女両方で上位10位に入っている項目

※赤字の項目は、今回調査で追加した項目

※「-」は前回測定項目になし

### 性別役割に対する考え

男性 上位10項目	回答者数：5452	(%)	(参考) 前回順位	女性 上位10項目	回答者数：5384	(%)	(参考) 前回順位
1 男性は仕事をして家計を支えるべきだ	48.7	2	1 男性は仕事をして家計を支えるべきだ	44.9	2		
2 女性には女性らしい感性があるものだ	45.7	1	2 女性には女性らしい感性があるものだ	43.1	1		
3 女性は感情的になりやすい	35.3	4	3 女性は感情的になりやすい	37.0	3		
4 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	34.0	3	4 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.2	4		
5 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	33.8	5	5 女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	27.2	-		
6 女性はか弱い存在なので、守られなければならない	33.1	-	6 女性はか弱い存在なので、守られなければならない	23.4	-		
7 男性は結婚して家庭をもって一人前だ	30.4	7	7 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ	21.6	5		
8 男性は人前で泣くべきではない	28.9	6	8 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	21.5	10		
9 女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	28.6	-	9 組織のリーダーは男性の方が向いている	20.9	8		
10 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ	28.4	8	10 大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	20.9	8		
11 家事・育児は女性がするべきだ	27.3	9	11 家事・育児は女性がするべきだ	20.7	7		
14 家を継ぐのは男性であるべきだ	25.4	10	12 共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病すべきだ	20.3	6		

# 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消等に向けた取組

## ●性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）調査研究「チェックシート・事例集」の作成

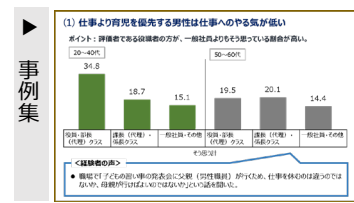
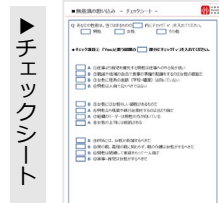
○性別による無意識の思い込みについて気づきの機会を提供し、解消の一助とするため作成。（令和3年度）

○令和3年9月に公表した「令和3年度 性別による無意識の思い込み調査研究 調査結果」の調査項目や自由回答から、職場、家庭、教育、地域・コミュニティ、その他とシーンごとのチェック項目を選定。事例集では、チェックシートで選定したチェック項目をシーンごとに整理し、調査結果のデータ及び調査で得られた自由回答を経験者の声として掲載し、その解説を記載することとした。

チェックシート・事例集はこちらから↓

「令和3年度 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」（内閣府男女共同参画局／2021年9月公表）

[https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu\\_r03.html](https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu_r03.html)

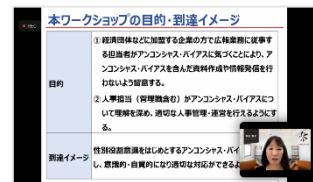


## ●性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する「ワークショップ」の開催

目的

- ① 男女共同参画関連施策、広報業務に従事する担当職員、メディア関係者がアンコンシャス・バイアスに気づくことにより、アンコンシャス・バイアスを含んだ資料作成や情報発信を行わないよう留意する。
- ② 人事担当職員（管理職含む）がアンコンシャス・バイアスについて理解を深め、適切な人事管理・運営を行えるようにする。

- ▶内容：①全体向け講義（アンコンシャス・バイアス調査結果概要等を踏まえ、問題共有や課題の分析）②グループディスカッション（自組織の取組事例の紹介、現状と課題の共有など）③発表、意見交換
- ▶開催形式：オンライン開催 ※令和4年度（計5回）：地方公共団体向け2回、企業向け2回、メディア向け1回



## ●性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消等に向けた「普及啓発用動画」の制作

性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消等に向けた情報発信の取組を強化することを目的として、チェックシート・事例集の内容を踏まえた「普及啓発用動画」を制作し、内閣府男女共同参画局公式YouTube等で公開（令和4年度）※令和5年度に普及啓発動画～PART2～を制作、同YouTubeで公開

性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消等に向けた普及啓発用動画 ▶ すべて再生

動画はこちらから↓

「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消等に向けた普及啓発用動画」

<https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/movie.html>



## ●性別による固定的役割分担に捉われない「フリーイラスト」の作成

性別による固定的役割分担や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消を目的として、誰もが簡単に利用できる「フリーイラスト」を作成し、無料で提供（令和3年度）

フリーイラスト素材はこちらから↓

「男女共同参画に関するフリーイラスト素材の使用について」

[https://www.gender.go.jp/about\\_danjo/symbol/free/manual.html](https://www.gender.go.jp/about_danjo/symbol/free/manual.html)

